

# いわき総支部報

2012年10月  
号外NO43号  
社民党いわき  
総支部  
教宣部

## 風化させるな「福島原発の事故を」 JCO臨界13周年

JCO臨界事故、福島第一原発事故を忘れない！原発再稼働反対！「JCO臨界事故13周年集会」が9月30日、原水禁などの主催で、水戸市で開催され、500名が参加した。

ゲストの鎌田慧さんは、原子力産業は政治主導で国民に真実を知らせないまま進められて来た。民家の隣に危険な核燃料工場を建設して悲惨な事故を引き起こした。野田政権は政治家が安全と判断し大飯原発を再稼働した。アメリカや財界の圧力により2000年の原発をゼロにする閣議決定が見送られ、大間原発の建設が再開された。脱原発基本法を制定して2020年代に原発を止める運動を院内外



での闘いが重要と訴えた。福島石丸さんからは、原発事故のより避難途中に入院患者が屋外に待機され、多くの人が命を落とした。酪農家が、「原発さえなければ」と自殺した。子供たちが校庭で遊べないなどの事故から、一年半の苦しみを報告した。また、このような悲惨な事故を起こしながら検察の取調べがない。東電、原子力政策を推進した国の責任を追及するため告訴しようとした。

元・臨界事故健康被害裁判原告の大泉恵子さんの健康被害の苦しみと事故を風化させない決意と脱原発署名活動の報告。さらに東海第二原発差し止め訴訟の再稼働阻止し廃炉に向けた運動の報告がされた。集会後、脱原発、再稼働反対を訴えて市内をデモ行進した。(友)

尚、集会にはいわき総支部から三名(勿来支部)で参加してきた。写真左 水戸市内デモ

総選挙候補者選考に  
双葉は断念  
県連合から再三にわたる総選挙候補者について双葉総支部は、七月二九日、全党員会議九月九日全党員会議を開催し論議してきました。「双葉総支部に候補者を擁立し闘う主体的な力量、任務を遂行

出来る体制も無い」「原発事故の被災地は双葉だけでは無い、福島県全体が被災地である事」「双葉の党員は通常の生活では無い、今後の生活設計も悩んでいる」などから総選挙の候補者擁立は「困難である」とし、5区支部連合(いわき・双葉総支部)も確認してきました。

尚、いわき総支部は九月二八日第六回常任幹事会でこの問題について論議しています。尚、総選挙闘争で10月一三日、総支部代表者会議が開かれます、総選挙カンパ未納支部は早急に納入を市議選カンパ及び総選挙カンパ既に納入時期が過ぎていますがまだ納入していない支部は早急に総支部までお願いします。

今、憲法(暮らしと平和)を考える  
未曾有の原発事故に加え、消費税大増税とPP・オスプレイ配備憲法審査会始動など私たち国民の命と健康、仕事と暮らしが今や危機に直面しています。憲法の最も大切な柱である基本的人権・生存権・思想信条の自由そして平和主義がないがしろにされ、憲法改悪の動きが強まっています。私たちは憲法を守り、暮らしと平和に生かす安心して暮らしを社会の実現をめざして、県民集会を開催いたします。

市議会公派  
構成おまの  
一〇月四日臨時市議会が開催され会派構成、正副議長、委員会構成など決まりました。正副議長は志道会独占、会派は

志道会14名、創世会6名(上壁・狩野氏等)政新会5名、共産・公明よ4名、つじ3名緑1名、  
委員会は上壁氏(市民福祉) 狩野氏(建設水道) 議運 上壁氏  
議会報 狩野氏  
又、東日本大震災復興特別委員会に狩野氏など、まきまりました。

### 当面の日程・行事など

- 10月11日(木)四倉支部会議
- 13日(土) 総支部代表者会議
- 13日(土) 北部党員会議
- 14日(日) 東北ブロック女性交流集会
- 23日(火) 脱原発県民集会第3回実行委
- 26日(金) 臨時市議会



# いわき総支部報

2012年9月号  
NO42号  
社民党いわき  
総支部  
教宣部

## いわき市議会議員選挙勝利 かみかべ・かりの当選御礼!!



九月二日告示、九日投  
開票で行なわれたいわ  
き市議会議員選挙は、  
定数三七名に対して現  
職三〇名、元職一名、  
新人一〇名の四一名が  
立候補、少数激戦とな  
りました。いわき市議  
選は恒例通り四年に一  
度のオリンピックと夏  
の甲子園、旧盆と行事  
が重なる残暑厳しい  
写真左 午後一時過  
ぎ当選御礼の狩野君

### 狩野氏初陣飾る・上壁氏 難しい二期目を制す!

時期の選挙戦、かりの・かみかべ両選対は夫々、これまでの想定通りと六月中旬に事務所開きを行い、当初から四〇数名前後の立候補を想定した少数激戦の闘いを進めてきました。しかし、昨年三月の東日本大震災、及び東電第一原発事故は、政府の対応のまずさ、行政機関の対応の遅さなどから政治不信、既成政党不信から、昨年行なわれた福島・郡山・若松の市議選、或いは県議選も含め全て五〜六%の投票率が低下してきている事、有権者の選挙に対する見方、考え方、価値観の変化などから、中々反応が読みきれない選挙戦でした。選挙戦大変、苦勞様でした。



写真右 当選の報に万歳する上壁選対本部

### 謙虚に4年間 頑張る かりの光昭君の 談話

午後一時半、当選確実の知らせに、支持者から一斉に拍手で迎えられた、かりの君、脱原発、医療・福祉・介護の充実などを訴えてきた、「地域に奉仕し、おこるごとく謙虚に4年間持てる力を発揮したい」と共に「誠実に復旧・復興や公約実現に精一杯がんばる」とも述べた。(西)

得票結果について  
投票率  
50・05%

上壁充 8位当選

3807票

狩野光昭 33位当選

2397票

### 総選挙で県連合 といわき総支部 話し合い

九月二日、県連合三役といわき総支部三役は、衆議院選挙について、県連合から提起された課題について協議しました。県連合小川幹事長からは、「総選挙の候補者要請にこの間二度いわきに来てい

る、八月二日は五区支部連合の話し合い、更に双葉総支部とも懇談してきました。今日改めてお願いにきた、九月九日双葉から提起された課題についても前向きに「いわきの地域割り」など各総支部で分担するなど工夫し、中央も巻き込んだ闘いとして、いわき総支部の皆さんにも協力を頂きたい」加藤代表から、「一〇月解散、一月中旬選挙

の公算高い、原発被災地県から何としても出してほしい、九月一六日県連合常任幹事会、顧問会議で一つの決断をしたい、三〇日には最終判断をする」といわき総支部は、「選挙委員会の経過も不鮮明のまま推移しようか、八月二日の五区支部役員会の結論から県連合から提起されても前には進めないとした。」尚、総支部は二八日第六回常任幹事会で更に議論はする事とした。(固有名は仮名です)

脱原発県民会議  
主催大集会  
小名浜集会の企  
画へ

本年3・11郡山集  
会から来年3・11に  
引き継ぐ「脱原発県民  
会議」主催の集いが企  
画されています。

日時 一一月二五日  
(日) 一〇時〜三時  
場所 小名浜市民会館  
講演 西尾漢氏(原子  
力資料情報室代表)

主催 県平和フォーラ  
ム・社民党県連・ブル  
サームル反対双葉など  
いわきに実行委員会を  
設置し、具体的な取り  
組みを企画します。

### 社民党東北ブロック 女性活動交流 集会の開催

期日 一〇月一四日  
(日)〜一五日(月)

場所 土湯温泉「山水  
荘」一泊二日  
東北ブロック女性活動  
交流集会が開催されま  
す、いわき総支部には  
五名の参加が要請され  
ています。

講演会 一日目宗片恵  
美子さん、二日目 紺  
野長人さん、一〇月五  
日迄参加集約します。

### 主な日程など

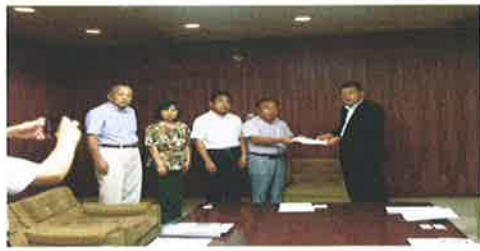
- 9月26日(水)脱原発県民集会実行委
- 28日(金)第6回総支部常任幹事会
- 29日(土)狩野光昭君激励会
- 30日(日)JCO臨界事故13周年集会
- 10月4日(木)臨時市議会開会



# いわき総支部報

2012年8月  
号外NO41号  
社民党いわき  
総支部  
教宣部

## いわき市議会も「福島原発の全基の廃炉」を採択



七月いわき市議会定例会は一日の最終日、これまで3回の意見書を否決してきた、「福島原子力発電所事故災害を踏まえたエネルギー政策の確立と福島県内すべての原子力発電所の廃炉を求める意見書(案)」の意見書を採択しました。意見書採択までには紆余曲折ありましたが、取りあえず他の市町村と足並みをそろえました。

七月いわき市議会定例会は一日の最終日、これまで3回の意見書を否決してきた、「福島原子力発電所事故災害を踏まえたエネルギー政策の確立と福島県内すべての原子力発電所の廃炉を求める意見書(案)」の意見書を採択しました。

写真上 八月十七日  
いわき市長へ要請書提出

約三万四千テラベクレルの放射性物質が放出され、それを物語るように一五日午前四時

八月十七日、社民党いわき・双葉、双葉原発反対同盟、双葉郡の医療を守る会、東電原発事故損害賠償を求める会の一党四団体代表者はいわき市長に「要請書」を提出しました。

以降、いわき市合同庁舎の線量計は二三・七二mシーベルトが確認されていること、同時期のいわき市民は、水道が断水し水汲みに戸外が出て給水し、多くの被曝が見られる事

1. 厚生労働省及び文部科学省に対しスピーディの情報公開を求め、いわき市民が無用な被曝した事実性認識を求める事  
(趣旨、昨年三月一五、一六日の二日間だけで、約三万四千テラベクレルの放射性物質が放出され、それを物語るように一五日午前四時

2. いわき市民への健康手帳の交付と無料健康診断と医療費の無料化を国に求める事、  
3. 廃炉従事者の使い捨て是正と健康及び生活の保障無料措置を講ずるよう国に求める事

4. 脱原発、東電福島第一五・六号機、及び福島第二原発の全てを廃炉にすること  
以上の四項目の趣旨を石丸氏から説明し、関野・遠藤氏が要請書を鈴木英司副市長に手交しました。

「いろいろな双葉郡の方といわき市民軋轢があると思うがいわき市は乗り越える必要がある、いわき市民も七千人が避難しています。」  
「廃炉作業員について、現状実態は全く不明、廃炉の労働行政はいわき市には無い」

「医療費無料化はどうか単純に距離では県全体の中で考える事ではないか」  
「福島原発について、一〇日いわき市議会が採択したものであり、市としても尊重したい」



予定  
「医療費無料化はどうか単純に距離では県全体の中で考える事ではないか」  
「福島原発について、一〇日いわき市議会が採択したものであり、市としても尊重したい」  
など、など約一時間三〇分に亘り意見交換しました。  
尚、出席者は、いわきから鈴木利之・上壁亮・狩野光昭・西尾、双葉から、関友幸・佐藤龍彦・遠藤陽子・石丸小四郎氏が同行。

「医療費無料化はどうか単純に距離では県全体の中で考える事ではないか」  
「福島原発について、一〇日いわき市議会が採択したものであり、市としても尊重したい」

当面の日程・行事など  
8月31日(金)東北ブロック会議  
9月2日(日) いわき市議選挙告示  
9日(日) いわき市議選挙投票日

九月二日告示九日投票日のいわき市議会議員選挙は、四一〜四二名の立候補が想定されま、上壁・狩野両候補は旧盆以前から事務所を開設し、本番に備えてきました。三七議席をかけて現職・新人・元職、が懸命の最後のお願いに東奔西走しています。党员・協力党员の皆さんは集中して、あと数票の上積み票の確保にがんばりましょう(西)

いわき市議戦  
いよいよ熱き  
闘いの本番へ